

学校応援団便り 7号

2009年12月18日

すこしだけ前の石部小学校といしべっこ

西岡種雄様 学校応援団本部役員 戦時中を石部小学校ですごされました
谷口茂雄 石部小学校校長

西岡：戦時中だったので、勉強しろと言われるより、「働け」と言われていた。

校庭は芋畑で、子どもが畑仕事をして、食べ物を作ったり、
今の雨山で炭焼きの仕事をして、学校まで自分たちで運んでそれを使ってたな。
「農繁休暇」というのがあって、田んぼの忙しいときには、学校が休みで、
家の手伝いを子どもがしたよ。

谷口：私も畑にびんを持って行って、いなごをたくさん取ってきて、つくだににしたり、
ざりがにをゆでて食べたりしてました。

西岡：そらまめや焼き芋をおやつによく食べたなあ。プールがなかったので、
水泳の授業は野洲川にみんなで泳ぎに行ったよ。

谷口：私も4年生まで野洲川でしたが、5年生でプールができました。(笑)

西岡：学校まではぞうりで行って、運動会ははだしだった。

谷口：私はくつでしたね。運動会は{すっぽんたび}でした。

西岡：今の石部小学校の校舎を立てるとき、お金が足りなかった分、雨山の木を 1000 万
円分売って、お金を作ったんだよ。

谷口：石部は昔から教育を大事にしてきましたからね。私は子どものころ、こまを
手のひらでまわして、その間は鬼につかまらない鬼ごっこをよくして遊びましたよ。
(笑)

西岡：昔は遊ぶものといえば、めんこやこまだったからなあ。大きい子から小さい子まで、
道でみんなで遊んでいたな。楽しかったな。

昔の石部小学校、子どもたちの様子について教えていただきました。

子どもたちが自分たちの住んでる町について、知らないことは、まだ
まだたくさんあると思います。子どもたちに伝えていくことは大切な
ことですよね。

※ {すっぽんたび} って何？お家や近所のおじいさん、おばさん。

校長先生に聞いてみてくださいね。

(左の答) 計算機です。電卓ができるまえに使われていました。